

全国高等学校選手権大会および全国高等学校選抜大会の学校対抗戦の試合方式について

・経緯

- ・(社)日本フェンシング協会より、以前よりリレー方式を導入するように要請を受けていた。
- ・世界的に見て、現行の総当たり方式での団体戦は高体連のみの試合形式になっている。

以上の状況から、本専門部でも導入の可否も含めて検討を行った。

本年度のリレー方式導入の可否に対するアンケートは、22(賛成)-20(反対)であった。

・方針

全国高等学校選抜大会の学校対抗戦でリレー方式を導入する。

→全国高等学校選抜大会は(社)日本フェンシング協会の主催大会である。

全国高等学校選手権大会(インターハイ)での導入は見送る。

→インターハイの日程を増やすことは、インターハイの規模縮小を考えている全国高体連より認められないと考えられる。もし導入を考えるとフルーレの出場人数を2人から1人に変更すれば可能である。しかし、リレー方式を導入するメリットとフルーレの出場人数を減らすデメリットを鑑み、フルーレの人数を減らさない方が良いとの結論に達した。

・導入の詳細について

1. 予選プールは行いたいとの意見が多く寄せられたので、予選プールは実施する。
2. その場合、すべての試合を実働3分で行うことは日程的に不可能である。よって、プール戦においては実働2分間。トーナメントでは実働3分で行う。
3. 現在特例的に認めている2名での学校対抗戦への出場は、現行の出場しない選手枠に対して0・5と扱う事では、出場しないチームが有利になる可能性があると思われるので実施しない。
4. 平成24年度の全国選抜大会(長崎)から導入する。

以上のように、常任委員会で合意されました。

実施方法など提案させて頂きましたが、皆様の意見を各県でまとめて頂きたいと思います。

平成23年11月30日(水)を締め切りとして、別紙の書面にご記入の上、専門部のアドレスにメールで添付してお送り頂くか、下記のファックス番号までお送りください。

アドレス contact@fencing.jp

ファックス 052-384-4614 (愛知県立惟信高等学校 根岸和弘 宛)